

第13回

議員と語る コンセプトバー

—— 今月のテーマ ——

「働く」をひらくと、
まちが変わる。

「働く」ということは、収入を得るためだけのものではありません。人とつながり、地域と関わり、自分の役割を感じることもつながっています。

障がいのある人が地域で働くこと。中小企業が、一人ひとりの個性や力を生かせる職場をつくること。そして、働く場所を地域の中に増やしていくこと。それは福祉や雇用だけの話ではなく、これからのまちづくりそのものなのかもしれません。

企業にとっての障がい者雇用の現実や可能性、働く側が感じていること、行政や地域にできること。それぞれの立場から語りながら、「誰かを雇うこと」「地域で働くこと」が、まちにどんな変化を生み出すのかを考えます。

今夜は、「働く」を少しひらいて、これからの地域の姿と一緒に話してみませんか。

ゲスト：

(障がい者雇用×中小企業×
まちづくり)

福祉ネットワークさくら
代表取締役

横山 由紀子さん

ゲスト：

(元Jリーガー・1期生議員が
語る議会チームとは)

越谷市議会議員

齊藤 豪人さん

ゲスト：

(越谷市の公共施設・道路の
予算、設計、工事、検査の流れ)

越谷市建設部長

北村 真一さん



日時

10月26日(月) 19時～



参加費

3,000円

ビュッフェ+フリードリンク
アルコールあり



会場

コミュニティカフェ・ガヤ Chill.

越谷市大里226-1-1F

TEL 070-5542-0443

ガヤ
Chill.

大里小学校

大袋駅

東武スカイツリーライン

大袋中学校

意外と話せる。 意外と面白い。 政治って意外と近い

まちのこと、
仕事のこと、
くらしのこと。
おいしいごはんと飲みものを
囲みながら、気軽に話せる
そんな時間です。

議員と語る Concept Bar って?

一夜限りの特別なバー空間で、有志の超党派議員が集まって市民の皆さんと語り合います。

(様々な市からの議員参加があります)

堅苦しい会議室ではなく、リラックスした雰囲気、政治や街のこと、未来への思いを自由に話せる対話の場。10月のテーマは、「働く」をひらくと、まちが変わる。障がい者事業を始めるきっかけや、現在の事業についてを横山さんから、プロサッカー選手からなぜ議員を志したのかなど、1年生議員の奮闘を齊藤さんから、越谷市の公共施設や道路がどう計画され、作られるのかなどについて北村さんからお話いただきます。10月は月曜開催ですが、ぜひお越しください。



前回の議員バーは...

第12回目の議員バーは「行政と市民が協働するまちづくり」をテーマに、デザインを実験する場 ザデラボ代表 関根隆さん、越谷市民ネットワークから、越谷市議会議員の清水泉さん、大田ちひろさん、越谷・松伏水道企業団 企業長の大徳昭人さんの4名の方にお話をいただきました。関根さんのまさに「実践の歴史」というべき壮大なプレゼンに驚き、大徳さんのお人柄にほっこり（クイズは結構難しかった）。大田さんと清水さんからは女性議員として感じることや、議会ってそうなっているの？と知らなかったことを知ることができました。今回は新聞の取材も入ったり、送別会（常連の方がお引越しされるので・・・）があったりと、盛沢山な内容でした。



企画・運営：一般社団法人ソブリン・ムーブメント

埼玉県越谷市大里226-1-1F

🏠 <https://sovereign-movement.com>

✉ お申込み: contact@sovereign-movement.com

これからも、
まちのことを語り合える
場をつくっていきます。
お気軽にご参加ください!

